



# 元気っ子

No.232 ながさわ保育園

平成 28 年 12 月号

園長 市川温予

11 月に入り、寒暖の差が激しく保育園の正面玄関のとちの木、かつらの木、そして園庭のアメリカ楓、しゃらの木とそれぞれがきれいに紅葉したと思ったら風に吹かれてどんどん散りはじめ、冬の姿になってきました。中でも正面玄関横のいちょうの木は今とてもきれいで、あたり一面に散った黄色の葉っぱがまるでじゅうたんのようです。

子ども達は、お散歩に行く時に色づいたきれいな葉っぱを手に取り大事そうに持っています。先生達も「うわー。きれい、いちょうの葉っぱ、黄色だね。」と子ども達に声をかけて一緒に楽しんでいます。きれいなものを見て、“きれいだね”と思う感性がこれから生きていくのにとても大切なことだと思います。こういう感性は教えられるものではなく、生活の中での環境全てから、子ども達は影響を受けて育っていきます。

11/16(水)に、年長児 36 名が全員そろって津にみかん狩りにいきました。みかん園に着くとおばさんからみかんの収穫の説明があり、子ども達はしっかりと話を聞き、ハサミを使って、一個、一個丁寧に取っていました。「こっちの木のみかんは大きいな」「これは美味しそう」「これは色が緑やでまだとったらあかんよ」「これはすっぱそうやな」など、いろいろと見たり、触ったりしながら感じたことを言葉で表現し、友達と楽しそうに収穫していました。また、一個とって食べると、甘い、すっぱいの味覚がわかるので、子ども達は「あの木のみかんは甘いよ」とお互いに教え合っていました。大きさを比べたり、数を数えたり、色や重さを比べたりと、みかん狩りの中で学ぶことがいっぱいありました。これが生きた学習です。袋にいっぱい詰めるのも、みかんの大きさや入れ方を考えなくてはいけません。見ていると一人ひとりの思いが表れ、面白かったです。自分たちで収穫し、いっぱい食べることもできて、子ども達は大満足の様子でした。いい経験ができたと思います。

その後は、中勢グリーンパークに寄り、お弁当を食べ、遊具で遊びました。ブランコ、アスレチック、ローラー滑り台等、何度も何度も繰り返し楽しんでいました。いろんな遊具がありますが、最初は怖くてできなかった子も友達の楽しそうな姿や声を聞いて、刺激を受けて、挑戦している子もいました。なんでもそうですが、「やったあー。できたね。すごいね。」と声をかけられることによって、子どもはまた挑戦していきます。“できるかな、できそう・・・、やってみよう”とだんだんと心が動き、できるようになっていくのです。

ながさわ保育園は本当に園庭も含め、自然に恵まれています。この自然の中で、いろんな発見をし、大人も子どもも一緒に共有、共感しながら過ごしていきたいと思えます。

これから来年の 1/27(金)に予定しています「おゆうぎ会」に向けての取り組みを楽しく丁寧に積み重ねていきたいと思えます。

体調を崩す子が増えてきました。ご家庭でも「手洗い・うがい」、「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣を身につけていただけたらと思います。

12/29(木)から 1/3(火)まで、冬休みとなりますので、よろしくお願いいたします。